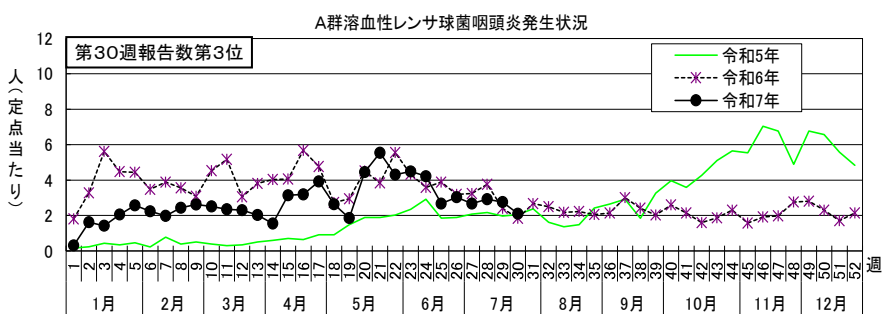
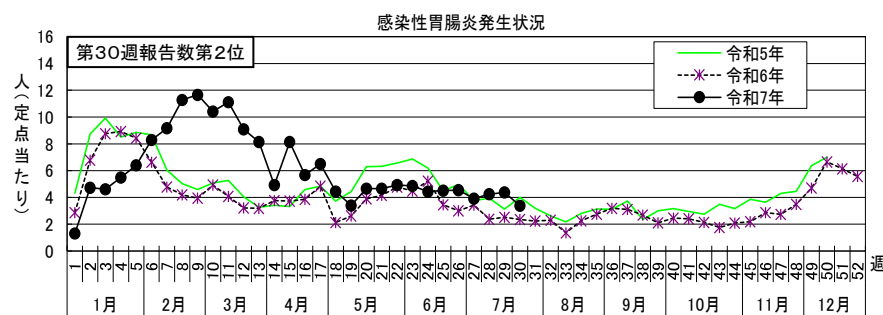
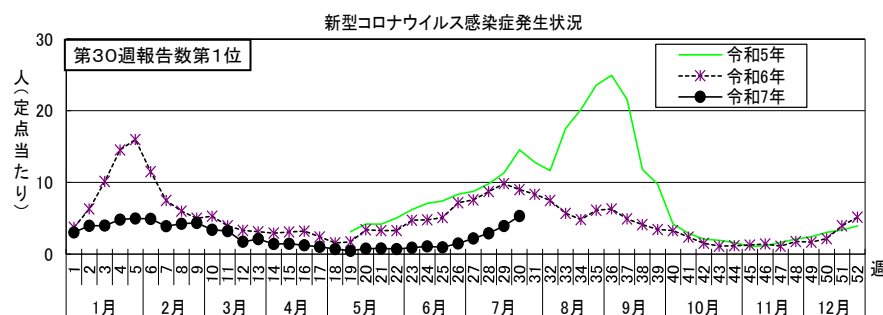


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年7月21日（月）～令和7年7月27日（日）〔令和7年第30週〕の感染症発生状況

第30週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）新型コロナウイルス感染症 2）感染性胃腸炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は5.31人と前週（3.93人）から増加しました。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.38人と前週（4.38人）から減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.11人と前週（2.76人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

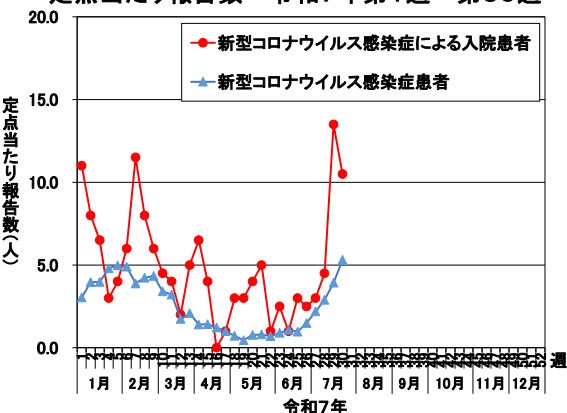


新型コロナウイルス感染症～入院例も報告されています～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、6月下旬から増加が続いており、令和7年第30週（7月21日～27日）に5.31人となりました。また、基幹定点からの新型コロナウイルス感染症による入院患者の報告数も、第30週は定点当たり10.50人となり、7月以降70歳代以上の高齢者を中心に増加がみられています。

高齢者や基礎疾患を有する方は、新型コロナウイルス感染症に罹患すると重症化しやすいとされています。症状が改善しない場合や、呼吸困難等の症状がみられる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症及び
 新型コロナウイルス感染症による入院患者の
 定点当たり報告数—令和7年第1週～第30週—



川崎市における新型コロナウイルス感染症による
 入院患者の年齢階級別報告数
 —令和7年第27週～第30週—

